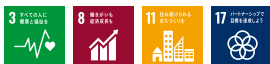




SDGs 達成に向けた取組み

①高度小児医療施設に隣接する滞在施設 (ドナルド・マクドナルド・ハウス) の支援 ②外国人・障害者雇用促進



目的・背景

- ①「ドナルド・マクドナルド・ハウス」(以下略 DMH 公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンが運営する高度小児医療施設に隣接する宿泊滞在施設)で病氣と闘う子どもとその家族の支援 (SDGs の基本理念 3「すべての人に健康と福祉を」)を通じて、共に助け合う社会 (17「パートナーシップで目標を達成しよう」)を目指したチャリティ文化の醸成と、“病氣の子どもとその家族を笑顔にする活動”に取り組んでいます。
- ②新規雇用促進・ダイバーシティの雇用促進 (8「働きがいも経済成長も」)に取り組んでいます。

具体的な取組内容

- ① 10 月 20 日を青いマックの日と称し、県内法人 8 店舗同様の取組みとして、当日店舗にお越しいただくお客様への DMH の周知活動及び募金活動を実施しました。
 - ・周知活動では、例年同様 (平成 29 年より) 店舗に来店いただいたお客様のご協力により、病氣と闘う子どもとそのご家族への応援のメッセージをいただきました。
 - ・募金活動では、店舗にご来店のお客様・ショッピングモールフードコート内による募金箱への募金、モバイルオーダーによるネット募金、事前に配布していたミニ募金箱の回収やハッピーセット (お子様向けミールセット) 購買訴求により売上の一部 (1 セットにつき 50 円) がドナルド・マクドナルド・ハウスへ寄付されています。
- 10 月の 1 ヶ月間を強化月間とし活動しましたが、周知活動、募金活動は継続して通年で行っています。



- ②ダイバーシティの雇用促進については、外国人雇用や障害者雇用、高齢者雇用等、幅広い属性の従業員雇用をしています。

成 果

- ①青いマックの日当日法人店頭での募金額¥159,016 のご協力をいただきました。
- ②新規雇用 196 名の採用・外国人雇用 20 名の実働。
 - ①法人店頭での募金活動だけでなく、認知や活動も広がってきて、たくさんの方に協力をいただきました。3「すべての人に健康と福祉を」を目的とした取組みでしたが、地域の方に支えられて活性化したことで、17「パートナーシップで目標を達成しよう」にも大いに貢献できました。
 - ②新規採用 (社員・アルバイト・パートを含めた雇用形態) 196 名、近隣の専門学校在籍の外国人留学生等、障害者・高齢者の雇用もあり、活躍していただいています。8「働きがいも経済成長も」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながりました。

担当者の思い

社会で SDGs への認知が広がってきたと同時に、一過性のものではなく、ゴールに向かっての従業員の核となる想い、行動のひとつひとつが繋がっていることを感じています。

募金からのスタートでしたが、認知活動が広がり、地域の皆様との関わりや新規採用者のトレーニングなど、マクドナルドが礎としているピープルビジネスと相重なり、企業としてもさらなる飛躍ができるよう今後も取り組んでまいります。

〈店長 枇杷田 真弓〉

